

令和7年度 第1回 長崎県公共事業評価監視委員会

事後評価対象事業

港湾－2 港湾改修事業
富江港

事業主体 長崎県

事後評価
の理由 事後評価実施
全体事業費10億円以上
事業完了後5年経過



1. 審議経過

審議経過	再評価の理由	工期		事業費 (億円)	B/C	概要
		着工	完了			
当初	—	H8	H19	23.2	採択時 算出なし	【工事概要】 航路泊地(-5.5m) 94,800m ² 防波堤 150m 岸壁(-5.5m) 200m 道路(1) 325m
第1回審議 (H17)	再評価後 10年経過	H8	H19	31.9	1.2	【当初からの変更概要】 ・事業費増額
第2回審議 (H22)	再評価後 5年経過	H8	H25	33.5	1.71	【前回からの変更概要】 ・発生土の流用による事業費増額および 工程調整による工期延伸
第3回審議 (H27)	再評価後 5年経過	H8	H28	33.3	1.36	【前回からの変更概要】 ・発生土の流用先の変更による事業費減額 および工程調整による工期延伸
第4回審議 (H30)	再評価後 変更	H8	R2	33.3	1.20	【前回からの変更概要】 ・発生土流用先との工程調整による工期延伸
第5回審議 (R7)	事業完了後 5年経過	H8	R2	31.4	1.16	

2. 目的・事業概要

○事業目的

- ・ 外郭施設、係留施設、水域施設の整備により、水深不足に伴う荷役調整解消、および貨物船大型化への対応と船舶航行の安全性の向上を図る。
- ・ 外郭施設の整備により、背後地域への越波防止効果の向上を図る。

○事業概要

事業期間：H8～R2

事業費：31.4億円

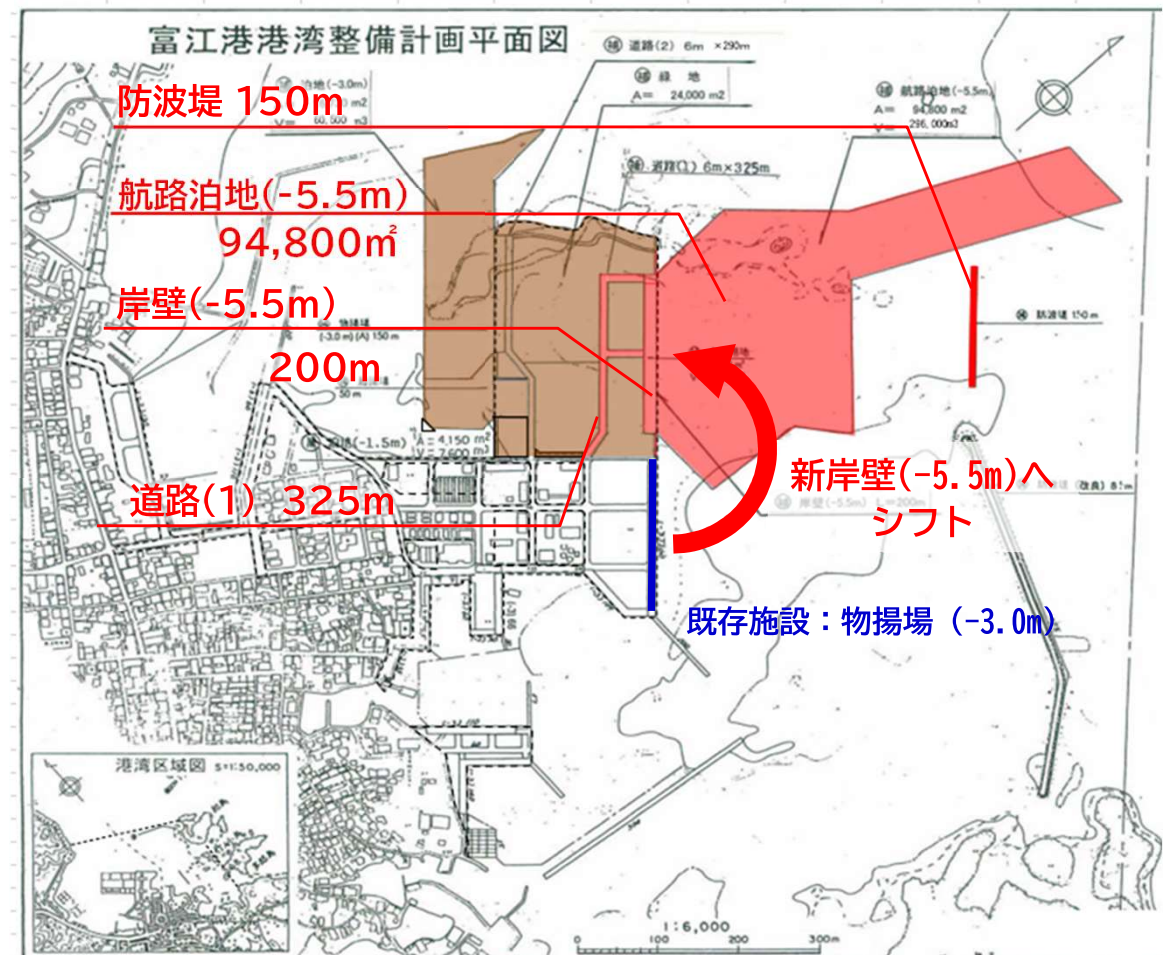
整備内容：

航路泊地（-5.5m） 94,800m²

防波堤 150m

岸壁（-5.5m） 200m

道路（1） 325m



3. 事業効果の発現状況

○事業効果の発現状況

- ・ 航路泊地等の整備により、水深不足に伴う荷役調整が解消され、作業効率化が図られた。また、船底の接触事故（海難）が回避され、船舶損傷等による損失額が削減された。
- ・ 防波堤等の整備により、背後地における高潮・波浪等被害が軽減された。



▲岸壁（-5.5m）における砂揚状況



▲ブロック等の製作・搬出ヤードとしての利用

4. 費用対効果の算定の基礎となった要因の変化

◆総事業費 : 33.3億円 (前回) → 31.4億円 (変更)

◆完了年度 : R2 (前回) → R2 (変更なし)

◆費用対効果 (B/C)

項目	前回 (再評価) (平成30年度)	今回 (事後評価) (令和7年度)
全事業	1.20 = 72.3億円 / 60.3億円	1.16 = 104.7億円 / 90.6億円

〔費用対効果が増大した要因 (プラス要因) 〕

- ・ 貨物の取扱量が前回評価時の4,000トン/年 から 4,900トン/年に増加した。

〔費用対効果が減少した要因 (マイナス要因) 〕

- ・ 評価年度の変更に伴うデフレータの影響により、総費用が増額した。

5. 社会経済情勢等の変化

埠頭の整備により以下のような効果が
発現しており、地域活性化に寄与して
いる。

- ・当該事業に併せて整備した緑地は
地域イベント等の会場として利用
されている。
- ・新たな事業所（水産加工会社）が
立地している。



▲五島長崎国際トライアスロンでの利用状況



5. 社会経済情勢等の変化

港湾利用者や地元の方へヒアリングした結果、港湾施設整備による効果を実感していることが確認できた。



砂・砂利業者

整備後は水深を気にせず満載での砂揚げが可能となったことで、1回の取扱量も増やすことができ、効率的な運搬が可能となった。



木材取扱業者

福江港が使用できない場合に木材搬出で利用したが、ふ頭用地も広く使いやすい。今後、個人有林から島外出荷も計画されており、取扱量が増えれば積極的に利用したい。

富江港での木材出荷状況 ▶



地元の方

整備された緑地を活用したイベントが数多く開催され、以前に比べて町外からの人も訪れ、富江町の賑わいが創出された。

防波堤やふ頭が整備されて、荒天時の波や被害がなくなり、安心して生活できるようになった。

6. 対応方針（原案）

○今後の事後評価の必要性、改善措置の必要性

- ・事業実施による物流の効率化や、背後地の資産等の防護など事業の効果発現が確認されており、今後の事後評価の必要性、改善措置の必要性はないと判断している。

○同種事業の計画・調査のあり方等

- ・本事業の見直しの必要性はないが、今後の同種事業においては、関係機関と連携し適切な事業管理に努め、事業効果が早期に発現されるよう早期完成に努める。